



第12号 平成30年12月
おぢか家族の会発行

ほほえみ会活動

去る9月6日、時津秋桜会の竹下幸枝様にご来島いただき、「姑の在宅介護と施設入所に至るまで」と題して講話をいただきました。その概要をお知らせ致します。

アルツハイマー型認知症にみられる症状や行動

中核症状
脳の機能低下が原因で
「できなくなる」



周辺症状
中核症状により二次的に
「引き起こされる」

抑うつ・不安・焦燥

妄想・幻覚

記憶障害
新しいことが覚えられない、
前のことが思い出せない

実行機能障害
段取り、計画ができない

失行
服の着方がわからない、
道具がうまく使えない

睡眠覚醒リズム障害

失語
物の名前が出てこない

失認
物が何かわからない、
迷子になる



徘徊

食行動障害

暴言・暴力・攻撃性

「認知症」って、どんな病気？

認知症とは、「脳や身体の病気が原因で記憶・判断力などの障害がおこり、普通の社会生活が困難になる状態」をいいますが、いくつかのタイプがあります。

【アルツハイマー型認知症】
脳の神経細胞が減って小さく萎縮してしまうために症状が出るタイプ

【脳血管性認知症】
脳の血管が詰まったり破れたりして、その部分の脳の働きが悪くなるために症状が出るタイプ

【その他の認知症】
レビー小体(異常な構造物)が大脳皮質にたまってしまうことによる「レビー小体型認知症」など

結婚と同時に夫の両親と同居しました。義父82歳、義母77歳でした。結婚当初義母は私に対してとても厳しく、何をしても注意され同居生活はとても辛く毎日のように泣き、私は何度も家を出していました。そんな中、義母84歳の時認知症の症状が出始めました。同じことを何度も言ったり、ごみ箱におしっこをしたり、ニワトリはいないのに「ニワトリがいるから部屋が散らかる」など、おかしいことを言うようになってきました。義母が管理している金庫を開けさせず私に「開けて」と言われた時は本当に驚きました。「やっぱりおかしい」と強く思うようになりました。そこで「膝を治療して貰いましょう」と言って脳神経外科に連れて行き、受付でこういう理由で連れてきました」と相談したらうまく対応していただきスムーズに検査・診察を受けることができました。結果は「アルツハイマー型認知症」でした。先生から「今からすごく大変になりますよ」と言われましたが、その時はその言葉の本当の意味がわかっていませんでした。介護認定は要介護2でした。それから、おかしい行動が目立ってきました。ある夜、電気ポットをガスコンロに乗せ火をつけたのです。一步遅かったらポットだけでなく命が危ない状況で、ゾッとしました。「あんたが盗った」「家に帰る(徘徊)」に加え、毎朝ベッドと床におもらしが続きました。ある日、私は息苦しくなり救急車で運ばれました。過呼吸が原因でした。その後パニック障害とうつ病を発症し心療内科に暫く通院しました。そんな頃、認知症の人と家族の会「時津秋桜会」との出会いがありました。会員の皆さんが暖かく迎えてくださり、親身になって私の話を聞いてくださったのです。肩の力が抜けてホッとしました。「何か問題がおきても家族の会の皆さんに相談しよう」と考えると少し気が楽になり乗り越えることができました。いろんな事がありながら月日が経ちました。ある11月の肌寒い夜。布団の中でウトウトしている時、義母の部屋から何度もクシャミが聞こえてきました。「休もうとしていたのに…私もゆっくり休みたい!!…そうだ、そのまま放っておいたら風邪を引いて入院するかもしれない。そうなったら私はゆっくり休める!楽になる!」そう考えて、放っておこうとしましたができませんでした。部屋に行くとき窓は開き、全裸で肌襦袢を軽く羽織って、鼻水は顎まで垂らし、手を握ると氷のように冷たく「寒かよ～」とニコニコしながら立っていました。鼻を拭き、暖かい服を着せベッドまで連れて行き布団をかけると「あ～、ぬっかね～」と言いました。一瞬でもひどい事を考えた自分がとても恥ずかしくなり、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。この頃は、もう私のことが誰だかわからなくなっていました。私のことを「お姉ちゃん」と呼び、私はこわかった義母が好きになっていました。だからやってこれたんだと思います。ある日、義母の徘徊が始まり「はあ～またか…」という気持ちと同時に「もう嫌だ!」という気持ち加わり衝動的に持っていたペンで自分の腕を刺していました。息子が止めてくれ、悲しくて泣いていましたが、義母の徘徊に泣きながら付き添いました。義母は「あんたどうしたと?大丈夫?」と声をかけてくれました。その日すぐに他県に住む夫の姉に「もう私は、おばあちゃんのお世話はできないです」と電話をかけました。義姉はすぐにケア・マネージャーに電話をしてくれ、施設に入る方向で話を進めることになりました。夫は、「施設には入れたくない」と反対しましたが、「そうしていいけど、私は一切お世話しません」と宣言すると「…それやったら、施設に」と言い、一緒に施設見学に行ってくれました。それから入所に向けて積極的に動いてくれるようになりました。現在義母は長崎市内の特別養護老人ホームに入所しています。98歳になりました。会いに行っても、私のことはよくわかっていないようですが、いつもニコニコ笑ってくれます。孫を連れて行くと、さらにニコニコ笑い、じーっと孫の顔を見て嬉しそうにしています。2年後は100歳です。それを目標に頑張ってほしいし、私もその手助けができるように現在も介護続行中です。



つぶやき

今年は、なんもなかよ～ 来年またね! 来年も、つばりますよ☆

♪「ほほえみ会」に遊びに来ませんか♪

奇数月の25日に集まっています。この会でのおしゃべりは、この会ならではの本音がでる。連絡先「あははは……」と笑いながら、介護で疲れた体と心を癒してくれるそんな会です。

リーフレット配布

世界アルツハイマーデー(9月21日)にあたり、ほほえみ会では、9月19日リーフレットを配布して啓蒙活動を行いました。当日は足を止めてくださった町民のみなさん、ありがとうございました。



代表下山56-3320
事務局伊藤56-3265

良いお年を……♪

